



第13回卒業証書授与式～たくさんの思い出を胸に～

3月12日（木）、本校体育館において「第13回卒業証書授与式」が行われました。今年は、新型コロナウイルス対策のため各学部に分かれて、卒業証書授与式が行われました。

授与式では、卒業生一人ひとりがステージに登壇して卒業証書を受け取りました。学校長の式辞では、小学部・中学部の卒業生には、日々の学習だけでなく、体育祭や修学旅行、とうせん祭などの一つの学校行事を仲間と一緒に協力して取り組んだことで、心も体もたくましく成長したこと。高等部の生徒には、行事に一生懸命取り組むだけでなく、最上級生として高等部や学校全体を引っ張り、仲間と一緒に成し遂げることを通して、かけがえのない仲間との絆も育んだことを称える言葉が、卒業生に送られました。

本年度の卒業生は小学部9名、中学部25名、高等部29名でした。学部ごとの卒業式になりましたが、保護者と全職員の見守りと温かい祝福の気持ちに包まれた、思い出に残る卒業式になりました。



第13回卒業証書授与式
卒業証書授与式



別れの言葉を
述べる高等部生

【小学部】6年生を送る会

2月28日（金）に「6年生を送る会」を行いました。在校生は、6年生に喜んでもらえるように、手作りの飾りでプレイルームを飾り、グループごとにダンスや合奏などの出し物やプレゼントをしました。6年生はハンドベルでの立派な合奏を披露しました。笑顔がいっぱいの楽しい会になりました。



6年生の発表

【中学部】3年生を送る会

3月2日（月）に「3年生を送る会」を行いました。送る会では、1・2年生から3年生へ、3年生から1・2年生へ、これまでの感謝の気持ちを込めて手作りのプレゼントを贈りました。また、3年間の思い出ムービーが上映され、中学部での3年間の思い出していました。最後は、1・2年生が「ビリーブ」を歌いながら3年生を温かく見送りました。



記念品渡しの様子

【高等部】3年生を送る会

本年度の高等部ではコースごとに「3年生を送る会」を行いました。新型コロナウイルス対策の臨時休校のため、卒業式前の最後の登校日となった3月2日（月）に、それぞれのコースで、祝福の言葉が書かれた色紙などのプレゼントを卒業生に送ったり一緒に最後の団欒を楽しんだりしました。1・2年生は卒業式に出ることはできませんでしたが、精一杯の気持ちで卒業生を祝福して送り出すことができました。



各コースで卒業生を祝福

進路指導部より

令和元年度卒業生の進路先について

今年度の高等部卒業生29名の進路先についてお知らせします。

		人数	進路先
一般企業		12	カシマ美装、馬渡商会、副島整形外科、園田病院、好日の園、介護老人保健施設たんぽぽ、エレナ嬉野店、そよかぜの杜、ドラッグストアモリ嬉野店、Hyakuta、ザ・ビッグ江北店、堀江製パン
就労継続支援	A型	3	東西食鶏加工、有田ものづくり壱番福、道の家
	B型	7	にじいろラボ（2名）、パンちゃん、いぶき村、アドバンス、アメリカパン、このめの里、かるがも *1名は、「にじいろラボ」と「このめの里」を併用
就労移行支援		2	三川内の里、アメリカパン
職業訓練校		1	長崎能力開発センター
生活介護		4	ほのぼの横丁、多良岳福祉園、ゆず、道の家

就業・施設体験を経て、自分に合った進路先を決定することができました。これからは、社会人として意欲的に頑張ってくれることを期待しています。保護者の皆様には、実習中の送迎や反省会、支援会議など、ご協力いただきましてありがとうございました。来年度もご協力をよろしくお願いいたします。

相談支援部より

地域の学校とつながった特別支援学校を目指して（巡回相談員より）

本校では、特別支援学校のセンター的機能推進事業として、本校職員が地域の学校へ出向いての巡回相談を行っています。地域の幼稚園・保育園、小・中学校、高等学校の児童生徒さんの支援方法について、先生方や保護者と一緒に検討したり、提案させていただいたりしています。今年度は、170件巡回相談をご利用いただきました。今年度は、一人ひとりの支援について、より時間をかけて取り組んできました。子どもの実態把握等については、各学校や医療機関、SC等の方で協力いただきありがとうございました。

特別支援学校では、授業研究会やケース会を実施しながら支援方法について共通理解を図っています。今後も本校の実践が、地域の学校の子どもたちの支援にも役立てていただけるよう、特別支援学校のセンター的機能（特別支援学校の持つ専門性を地域に役立てていく取組）の充実を図っていきたいと考えています。次年度もよろしくお願いいたします。

校種等別巡回相談件数

